

6 . D X の推進

Re-Designおおさか～大阪市DX戦略～の推進

令和7年度 DX推進事業 63億8,200万円

Re-Designおおさか～大阪市DX戦略～の推進

- データやデジタル技術の活用を前提に、サービス利用者の目線で行政サービスそのものやその提供スタイルを進化させ、一人ひとりが多様な幸せ(Well-being)を実感できる都市へと発展するよう、DXを推進

サービスDX

(20億1,900万円)

利用者目線でデザインされた便利・快適な行政サービスをスピーディに提供
(区役所DXの取組など)

都市・まちDX

(8億4,300万円)

便利・安心・安全に暮らせる魅力・活力のあるまちを実現
(AIの活用や建設生産プロセスの高度化による都市機能の高度化の取組など)

市民QoLの向上
都市力の向上

行政DX

(35億2,000万円)

効率的かつ質の高い組織・業務運営を実現
(バックオフィスDXの取組など)

Re-Designおおさか～大阪市DX戦略～の推進

DX推進事業(主なもの)



区役所DX実現等に向けた取組

サービスDX (4億7,600万円)



みんなにeasy! DX区役所

オンラインでeasy!にできる手続き
デジタル技術でeasy!につながる地域
職員だってデジタル活用でeasy!にお仕事

- 住民と自治体の接点(フロントヤード)の中心である区役所において、区役所DX実行計画を踏まえた様々な取組を順次実施し、市民の利便性を向上
- 「書かない、漏れがない、待たない窓口」の実現に向けた窓口改革、AI電話による問い合わせ対応、デジタルサイネージの活用、新たな庁舎空間の創出などをモデル区において実施

区役所の将来のイメージ

マイナポータル利用
セルフブースの設置

リモート相談ブースなど新たな
市民サービスの提供に向けた
庁舎空間の創出

人流分析によりコンテンツ配
信を行うデジタルサイネージ
の活用



AI音声認識ツール
による高齢者・聴覚
障がい者支援及び多言語翻訳

AI電話による
24時間365日の
問い合わせ対応

デジタル活用による手続きの迅速
化や自動化に向けた窓口改革

Re-Designおおさか～大阪市DX戦略～の推進

都市・まちDX

⑧ なんば広場の安全管理に関するデジタル技術の活用方策に係る検討調査 (5,000万円)

- 人の混雑・集中状況をリアルタイムに把握できるデジタル機器を設置し、イベント時の効果的・効率的な事故防止につなげるなど、より一層の安全・安心の確保に向けたデジタル技術の導入検討を実施

⑨ バックオフィスDX推進事業 (24億2,800万円)

行政DX

- 予算編成、調達・契約、財務会計、公文書管理や人事給与等関係事務といった内部管理業務(いわゆるバックオフィス業務)の全体最適化により、市役所組織全体のパフォーマンスの向上を実現

自治体情報システム標準化・共通化の推進

自治体情報システム標準化・共通化事業 (34億2,600万円)

- 住民情報関係20業務のBPR(業務の見直し)やガバメントクラウドで稼働する標準準拠システムへの移行など庁内プロジェクトを推進

スマートシティ戦略の推進

⑩ スマートシティ戦略推進事業 (6,700万円)

- 大阪府と連携して、住民の生活の質(QoL)の向上を目標に掲げた「大阪スマートシティ戦略」の取組を推進するとともに、スーパーシティ構想について、全体計画で新たに取り組む内容を検討し、先端的サービスや規制改革の実現に向けた取組を実施